

哲学と倫理

選 択

開講年次：1年次前期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：なにかが存在するという事。私たちがなにかを知っているということ。そして、私たちが言葉を通じて他人と理解し合っているということ。哲学とは、ふだん私たちがあたりまえに思っているそのようなことからの「あたりまえさ」を問い返し、それに答えようとする営みの集積からなる学問です。この講義では、哲学の歴史の中で論じられてきた問題を紹介しながら、現代の学問の基礎となっている哲学的概念について解説していきます。それらの問題や概念の理解にもとづいて、皆さんが自らの考えを適切に論じることができるようになることがこの講義の目標です。

■**到達目標**：①基本的な哲学的概念を理解する。
②それぞれの哲学者がどのような問いにどう答えようとしたのかを理解する。
③①と②の理解をふまえ、自分の考えを筋道立てて論じる。

■**担当教員**：

中島 孝一

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 インTRODクションー哲学は何を問題にするのか
- 第 2 回 プラトンのイデア論
- 第 3 回 アリストテレスの目的論的自然観
- 第 4 回 哲学的自我の発見ーデカルト
- 第 5 回 表出する世界ーライブニッツ
- 第 6 回 カントの理性批判 (1)
- 第 7 回 カントの理性批判 (2)
- 第 8 回 人格と自由
- 第 9 回 自由と正義
- 第10回 自己と他者
- 第11回 フッサールの現象学
- 第12回 ハイデガーの存在論
- 第13回 他者のまなざしーサルトルとレヴィナス
- 第14回 ことばの意味
- 第15回 論文の書き方と考えるヒント

■**教科書**：指定せず。講義中に資料を配布します。

■**参考文献**：各テーマに即した参考文献を講義中に提示します。

■**成績評価基準と方法**：期末レポート（70%）に小テスト・中間レポート（30%）を加えて評価します。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
期末レポート	◎	◎	◎	基本的な概念を理解し、個々の哲学者の考え方をふまえた上で、課題に関して筋道立てて論じることができること	70
小テスト・中間レポート	◎	○		基本的な概念とその背景を理解していること	30
出席				10回以上の出席	欠格条件
その他					

◎：特に重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：予備知識は必要ありませんが、自ら考えようとする努力は要求されます。また、講義形式で行なわれる授業ですが、授業中の質疑応答や議論は大いに歓迎しますので、積極的に参加してください。難しいからこそやってみたい、そんなあなたのチャレンジを待っています。